

組み立てを考えて物語を書こう

めあて

場面のうつりかわりを考えて、物語の組み立てを考えてメモを作ろう。

三年とうげ	
①	三年とうげのしようかいと言ひ伝えがあつた。
②	おじいさんがとうげで転び、心配で病気になる。
③	トルトリは、おじいさんにとうげで何度も転ぶようにすめる。
④	トルトリの言うことを実行して、おじいさんは元気になる。

組み立てメモの例

④	三人は、太郎の兄が自転車にのっているのを見つけた。	
③	友だち二人に話すと、たんでいだんを作つてさがそうということになる。	
②	帰ろうとすると、自転車おき場においでいた自転車がない。	
①	九月の土曜日、太郎は、自転車にのつて、スーパーマーケットに入った。	
	文でかんたんにせつ明しよう。	絵をかくなら

多くの民話のように、絵をかくなら、どんな絵をかくのかを三年とうげを参考に考えさせます。

【8 / 12時間目 指導略案】 使用するワークシート⑧
活動のねらい

あらすじマップを基にして、場面のうつりかわりを考えて、物語の組み立てメモを書くことができるようにする。

1 本時のめあてを確認する。

○ あらすじマップから前時の学習を振り返り、本時は、物語の組み立てメモを作り、書くための準備をしていくことを確認する。

2 物語の組み立てについて話し合ったことを振り返り、学習の見通しをもつ。

① 学習活動の見通しをもつために、「三年とうげ」や他の物語の組み立てに共通する四つの場面構成があつたことを思い出す。

○ ワークシート④・⑤・⑥を基に振り返らせることで、場面の違いを想起させ、そのうつりかわりに気付かせていくようにする。

3 場面のうつりかわりを考えながら、自分の物語の組み立てメモを作る。

① あらすじマップに書かれている「いつ」「どこで」などの事柄を基に、組み立てメモを書く。

② 早く終わった児童は、さし絵をかんたんにかく。

○ 児童の学習状況を把握し、組み立てメモになかなか書けない場合は、教師が、組み立てメモの例を提示して、参考にさせる。

評価 あらすじマップを基にして、場面のうつりかわりを考えて、物語の組み立てメモを書くことができる。

4 本時を振り返り、次時について知る。

○ 学習計画表を基に、次時は、物語のはじまりと出来事が起きる部分を書いていくことを確認する。